

<b>Q. 1</b>	<b>キリスト教教育を行う学校とは、どのような特徴がありますか</b>
<b>A</b>	日々の朝礼、授業で行われるチャペルアワーや聖書学課など、西南女学院ではキリスト教に触れる機会がたくさんあります。 また本学が行う学生アンケートでは、キリスト教を通じて人に奉仕する精神や思いやりの気持ちを学んだというような、知識のみならず社会において大切な心構えを持てるといった声もあります。
<b>Q. 2</b>	<b>クリスチャンでないことで、何か不利になることはありますか</b>
<b>A</b>	募集要項にも記載してありますが、キリスト教主義教育に賛同していただければ大丈夫ですので、不利になることはありません。
<b>Q. 3</b>	<b>語学力は必要ですか</b>
<b>A</b>	必須ということはありません。本学には英語や中国語を母語とする教員や、他言語を話せる職員もいます。職務上は日本語で問題ありませんが、大学事務職員として、様々な人との仕事の中で、語学力も武器のひとつになるでしょう。
<b>Q. 4</b>	<b>習得した方が良い資格はありますか</b>
<b>A</b>	この資格がないといけない、といったものはございません。ただ、業務は基本的にパソコンを使っておこなうため、パソコンスキルは必須となります。 また教務事務、就職、経理処理や給与計算のために専用のソフトを導入している部署もあります。これまで使ったことはなくても、自分でマニュアルなどを読みながら操作ができる程度のパソコンスキルが求められます。
<b>Q. 5</b>	<b>定年は何歳ですか</b>
<b>A</b>	事務職員の定年は62歳です。

<b>Q. 6</b>	<b>入職後について</b>
<b>A</b>	入職後は、書記補（定型的な業務を行う職務）として、配属部署でのOJTを中心にスキルアップしていきます。新入職員研修を通じて、西南女学院のこと、社会人マナーについて学ぶ機会も設けています。 仕事は一人で抱えてするわけではありません。仲間や先輩と一緒に仕事を進めていきます。「ほう・れん・そう」を合言葉にすることで、より一層チームワークを高めることができます。
<b>Q. 7</b>	<b>異動や転勤はありますか</b>
<b>A</b>	異動の期間は定めていませんが、異動はあります。 転勤はありませんが、併設の中学校・高等学校、幼稚園への異動に伴い、勤務地が変更となることがあります。
<b>Q. 8</b>	<b>育児休業の取得について</b>
<b>A</b>	2020年度から2023年度で育休取得者は13名おります。そのうち4名は男性職員です。育休について、職場の理解を得られていることが男性職員の育休取得につながっています。また、子どもが生まれた職員には、育休についての案内・説明をしており、最近では産後パパ育休、パパママ育休プラスのご案内もしております。
<b>Q. 9</b>	<b>どのような職員を求めていますか</b>
<b>A</b>	西南女学院は、次のような職員を求めています。  ・西南女学院の建学の精神“感恩奉仕”「キリスト教教育を通して、感謝の気持ちを常に持ち、互いに愛し合い、支えあう心を育む。」に賛同できる人。 ・職員同志、また、学生生徒に対して上下の感を持たず人を人として尊重し、その人格を認め、その真の幸福を図ることができる人。 ・努めて相手の立場と心とを理解しようとし、寛容と謙譲の心をもって互いに相容れ、互いに赦し合うと同時に、愛の厳しさをもって自己に対しても、相手に対しても常に高い基準をもつことができる人。  ・「西南女学院の未来と一緒に創っていきいたい！」という熱い思いのある方と一緒に働きたいと思えます。